

平成25年度 部長マニフェスト

まちづくり推進本部長 門倉 俊明

部の概要			
所属課と人員 (H25.4.1現在)	国立駅周辺整備課、南部地域整備課	12人	

部の運営方針

まちづくり推進本部は、国立駅周辺整備課、南部地域整備課の2課で構成され、国立駅周辺まちづくりに関すること、南部地域整備の推進、町名地番整理などの業務を行っています。国立のまちづくりを担う部として、市長の目指す「365日24時間安心・安全のまちづくり」の「国立のまちの景観と賑わいをつくる」を重点に、地権者、市民、関係機関等と連携し、取り組みます。

国立駅周辺まちづくりでは、交通の要衝という立地条件を活かし、市民の利便性の向上を図るために、高架下での市民サービス施設など公共施設の設置に加え、旧駅舎の復原・活用を含めた駅前での歩行空間の確保など駅前の価値を高める整備と共に、駅前から伸びる大学通りをはじめ国立特有の景観にも配慮した賑わいと活力ある、人にやさしい歩車共存の駅前広場を創出してまいります。

南部地域整備では狭隘道路の拡幅等整備に努め、現在進行中の城山南地区、下新田地区とともに北地区の町名地番整理を進めてまいります。

平成25年度の重点項目

項目	具体的内容	達成状況(年度末振り返り)	達成度
1 国立駅周辺まちづくり整備事業	国立駅周辺まちづくり基本計画に基づき、中央線連続立体交差事業完了後の平成26年度より順次事業を進めるため、関係機関等と協議を行い、財源となる社会資本整備総合交付金の申請に向け、第2四半期中に計画書を作成する。	国立駅周辺まちづくり基本計画に基づき、関係機関等と協議を行い、社会資本整備総合交付金の申請に向け都市再生整備計画(案)を作成したが、関係機関等との協議が整わず社会資本整備総合交付金の申請は平成26年7月に概算要望、11月に本申請の予定となった。	C
2 国立駅南北駅前整備事業	国立駅周辺まちづくり基本計画に基づき、南北一体の駅前広場整備に向け、JR等関係機関等と協力し歩車共存の駅前整備実現に必要な南北駅前用地を確保する。	まちづくり会議等を経て南北駅前広場整備の方向性についてまとめることが出来た。旧国立駅舎の再築を含め南北一体的な駅前広場整備に向けJR等と用地確保に向けた協議を行ってきたが、用地を確保するには至らなかった。引き続き協議を継続中。	C
3 南部地域整備事業	昭和59年3月策定の国立市南部地域開発整備基本計画は経年経過もあることから、狭隘道路整備等を積極的に取り入れ、安全で利便性が図れるよう基本計画の見直しを行ない、市民への説明、議会への報告を経て国立市南部地域整備基本計画を策定する。	優先整備路線等に係る基本計画の見直しに時間を要したことから基本計画(案)の作成が遅れ、平成26年第1回定例会へ計画(案)を報告したが、市民への説明については4月に開催することとなり、平成25年度内での基本計画策定までに至らなかった。	C
4 土地区画整理事業の推進及び促進	事業中の城山南地区及び下新田地区の組合運営に対し適切な指導を行い、平成25年度助成対象事業として「国立市土地区画整理事業助成要綱」による助成事業を適切に執行する。	下新田地区について平成24年度助成対象の一部が施工不良により助成対象工事が平成25年度に再履行となったが、その後の組合への適切な指導により、平成25年度助成対象工事も含め完了し助成事業を適切に執行した。城山南地区については工事が完了し助成事業も適切に執行できた。	B
5 町名地番整理事業の実施	城山南土地区画整理事業、下新田土地区画整理事業の換地処分及びJR中央線立体交差化事業の完了に合わせ、城山南地区、下新田地区及び北地区の町名地番整理を進める。	城山南土地区画整理事業については、組合における換地計画書作成等、事業進捗の遅れに伴い平成26年度へ繰り越しとなった。下新田地区については予定どおり平成26年度完了に向け実施された。北地域については平成25年11月に町名地番整理が完了した。	B